

参 考 資 料

1. (独) 家畜改良センター個体識別部の業務について
2. 牛の個体識別情報検索サービス検索結果画面の見方について
3. 牛トレサ制度上の用語説明
4. 種別（品種）の区分について
5. 各種様式及び関連規程
6. 農林水産省 地方農政局等一覧

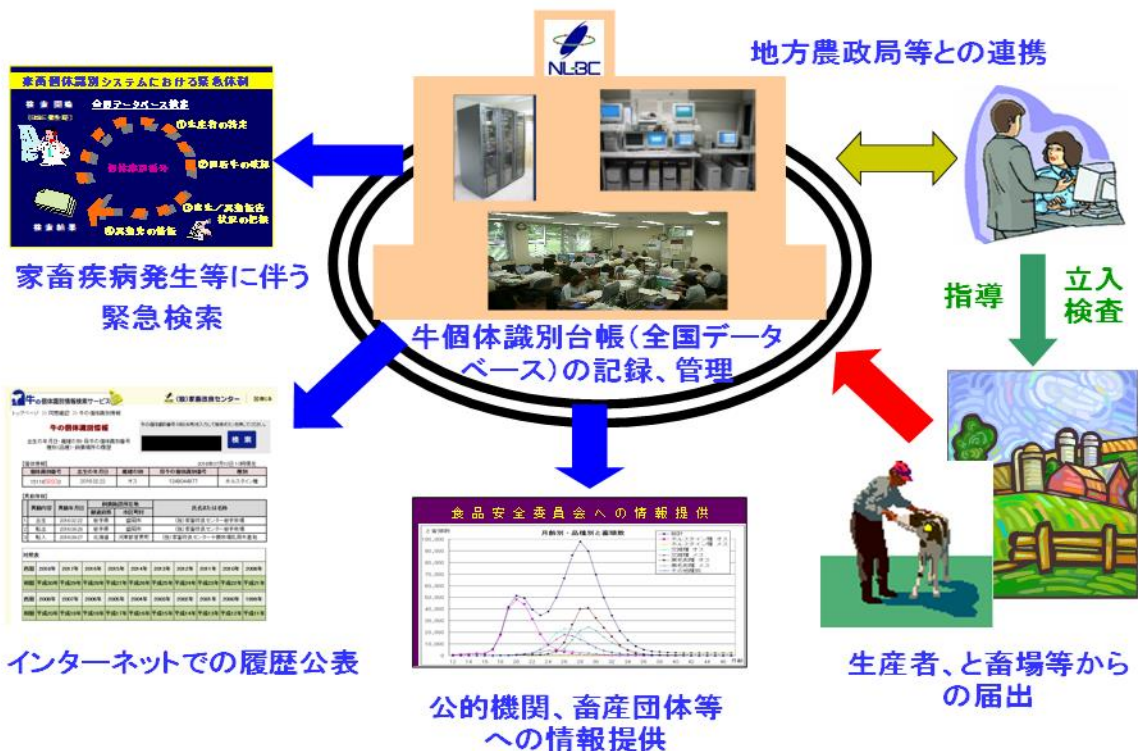
1. (独)家畜改良センター個体識別部の業務について

センターでは、「牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法」(平成15年法律第72号)に基づき、農林水産大臣から委任を受け、牛の管理者(農家)等から届出された出生・異動情報を受理し、牛個体識別台帳(全国データベース)に記録・保存するとともに、これらの情報をインターネットで公開しています。

これらの牛個体識別台帳の管理に当たっては、農林水産省(地方農政局等)とネットワークを通じて情報を共有し、牛の管理者からの不適切な届出に対する監視体制を構築するなど、牛トレーサビリティ制度の信頼確保に努めているところです。

このほか、牛の個体識別情報を有効に活用するため、牛個体識別台帳(全国データベース)に蓄積された記録を、牛の管理者のほか行政機関や畜産関係団体等に広く提供するとともに、届出を集計した情報(全国の飼養頭数、と畜頭数、出生頭数)を定期的に(毎月又は年1回)「牛の個体識別情報検索サービス」ホームページで公表しています。

(独)家畜改良センターの業務



2. 牛の個体識別情報検索サービス検索結果画面の見方について

牛の個体識別情報検索サービスの検索結果は、以下の①又は②により、表示されています。

① 公表されている【個体情報】及び【異動情報】について

この赤字は、耳標の個体識別番号 10桁のうち、拡大数字4桁を表します。

【個体情報】

個体識別番号	出生の年月日	雌雄の別	母牛の個体識別番号	種別
***** *****	20××.××.××	去勢（雄）	*****	黒毛和種

牛トレサ法上は、「雄」又は「雌」のどちらかで届出することとされていますが、雄牛は去勢された後に肥育・と畜される場合が多いことから、と畜後は、一律に「去勢（雄）」と表示しています。ただし、「去勢又は雄」を意味するため、去勢されていない一部の牛も含まれます。

【異動情報】

	異動内容	異動年月日	飼養施設所在地		氏名または名称
			都道府県	市区町村	
1	出生	2015.12.16	福島県		
2	転出	2016.01.21	福島県		
3	転入	2016.01.21	福島県	西郷村	家畜一郎
4	転出	2018.06.26	福島県	西郷村	家畜一郎
5	搬入	2018.06.26	福島県	西郷村	西郷食肉公社
6	と畜	2018.06.27	福島県	西郷村	西郷食肉公社

受精卵移植などの場合は、本牛が黒毛和種であっても母牛が黒毛和種以外の品種の場合がありますので注意してください。

個人情報のため管理者等の同意を得て公表しています。同意が無い場合は、空欄（非公表）となります。

注）「種別」又は「氏名または名称」欄にリンクがある場合は、外部サイトのコンテンツ（「血統情報」、「登記・登録情報」、「飼養管理情報」）にリンクします。

② 情報が非公表の場合（長期間届出が行われず所在不明となった牛）

【個体情報】

個体識別番号	出生の年月日	雌雄の別	母牛の個体識別番号	種別
***** *****				

【異動情報】

出生の年月日、雌雄の別、母牛の個体識別番号、種別が空欄になります。

この牛は、長期間に渡って、譲受け（転入）、譲渡し（転出）などの届出が行われず、所在が不明のため、牛の個体情報、異動情報を表示しておりません。

3. 牛トレサ制度上の用語説明

A～Z	用語	説明	関連ページ
C	CTI	電話音声応答システム。プッシュホンで音声ガイダンスに従い届出ができるシステムです。	11
F	FAX	報告カードに必要な事項を記入し、FAXを使用して届出を行うことができます。FAX報告様式には、出生（一括）報告カード、異動（一括）報告カードがあります。	17
I	ID連携	バーコードリーダー（携帯端末機）を用いて、耳標のバーコードから個体識別番号を読み取り、パソコンに取り込んで、専用回線で届出できるシステムです（家畜市場・と畜場で利用されています。）	15
L	LIAJ	一般社団法人 家畜改良事業団の略称	－
L	LOシステム	インターネットの電子メール送受信機能を利用して、多頭数を一括して届出できるシステムです。（主に農協や大規模農場で利用されています。）	13
N	NLBC	独立行政法人 家畜改良センターの略称	－

五十音順	用語	説明	関連ページ
ウ	牛個体識別台帳	牛の「個体識別番号」、「出生又は輸入の年月日」、「雌雄の別」、「母牛の個体識別番号」等、法に基づき記録されているデータベースです。（平成15年12月から運用が開始され、別名「全国データベース」とも呼ばれています。）	8
ウ	牛トレサ法（制度）	牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法（平成15年6月11日 法律第72号）の略称。牛トレーサビリティ法と表記している場合もあります。	1
ウ	牛の管理者	<p>法では、以下に示すように実際に牛を飼養している方を「牛の管理者」としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 牛の飼養者 (2) 共同哺育・育成センター・繁殖センター・肥育センターの管理者 (3) 牛の飼養を行う公共牧場の管理者 (4) 試験研究機関 (5) 牛の飼養を行う教育機関 (6) 荷受業者 <p>なお、牛の管理者に該当しない場合でも、牛の取引に関わる農協、家畜商、家畜市場等においても、牛個体識別台帳に記録される牛の個体識別情報の正確性を確保するため、センターに届出をいただくよう協力をお願いしています。（「牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法の運用について」（15生畜第2072号 農林水産省消費・安全局長、生産局長通知 第1の2））</p> <p>また、輸送期間を含めおおむね1週間以上預かる場合は、牛の管理者としての届出の義務が生じます。（「牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法の運用について」（15生畜第2072号 農林水産省消費・安全局長、生産局長通知 第5の1））</p>	3
ウ	牛の個体識別情報検索サービス	センターが提供するホームページで、インターネット上から牛の個体識別番号を入力し、牛個体識別台帳（全国データベース）に登録された牛個体識別情報を検索できる仕組みです。	12
カ	家畜個体識別届出システム代行届出利用申請書	農協等の代行届出者が、届出Webシステム等から農家に代わって牛の届出を行う場合に、センター宛てに利用申請を行う様式です。代行届出者自身も農家コードを取得する必要があります。	18
カ	家畜商	家畜の売買、もしくは交換、斡旋の事業を営む者。営業を行うためには、家畜商の免許を取得する必要があります。ただし、農協職員はこの限りではありません。	－

五十音順	用語	説明	関連ページ
カ	管理者コード	本制度の運用の基礎となる牛の管理者のコード番号で、飼養地、所在地毎に1つの番号が付されます。「農家コード」とも呼びます。	3
キ	既存牛	法施行前の出生牛を「既存牛」その届出を「既存牛届出」といいます。	－
コ	個体識別番号	牛の個体を識別するために、農林水産大臣が牛1頭毎に管理者に通知する10桁の番号をいいます。全国で飼養される全ての牛が対象とされ、重複のない生涯唯一の固有番号です。	3
コ	個体識別番号決定通知	法第9条第1項に基づき、農林水産大臣は出生・輸入の届出を受理したときは個体識別番号を決定し、遅滞なく、当該届出をした牛の管理者又は輸入者に通知することとされています。センターでは、届出手段に応じて、決定通知を返信しています。 FAXでの出生の届出については、登録完了後にFAXで「牛の個体識別決定通知書」が送付されます。	8
サ	再発行耳標	装着ミスや耳標の脱落等によって使用できなくなった通常耳標の代わりに、同じ個体識別番号で再発行請求された耳標のこと。耳標の上部に「R」の文字が付されています。	6
シ	耳標	牛を個体識別するため10桁の数字とバーコード、NLBCのロゴマークが印字された黄色の耳につける札。生産農家等によって牛の両耳に装着されます。	4
シ	耳標の管理換え	未装着耳標は、配付先の管理者毎に装着することとして管理していることから、配付先と異なる管理者が出生等の届出を行うと、届出が登録されません。このような場合は、耳標の配付先を変更する必要がある、変更の手続きを「耳標の管理換え」といいます。	6
シ	耳標の再発行請求	耳標が脱落又は破損して装着できなくなった場合は、同じ個体識別番号の耳標を再度装着する必要があります。このため、牛の管理者は、速やかに同じ番号の耳標の再発行を請求する必要があります。	6
シ	所属団体	管理者への再発行耳標の配付や、耳標の過不足のとりまとめをいただいている農協・役場などです。	6,7
セ	全国データベース	ここでは、牛の個体識別台帳のことをいいます。	8
タ	代行届出	管理者の依頼を受けて、農協等が牛の出生・異動の届出を管理者に代わって行うことです。	18
チ	地方農政局等	牛トレサ業務を所管する農林水産省北海道農政事務所、地方農政局、総務省沖縄総合事務局（農林水産省 地方農政局等一覧 参照）の総称です。	70
ツ	通常耳標	牛が生まれた際や輸入した際に装着する耳標で、再発行耳標と区別して通常耳標と呼ばれています。	6
ト	と畜者	法において、「と畜者」とは、「牛をとさつした者」と定義されています。牛の個体識別台帳の最終履歴情報であるとさつ年月日等を届ける者であると同時に、消費者に向けて流通する牛肉について個体識別番号を最初に伝達する重要な役割を果たしています。	－
ニ	荷受業者	と畜場における牛のとさつ・解体を「と畜者」に委託することを請け負って牛の飼養者等から牛の引渡しを受け、当該牛がとさつされるまでの間、当該牛を管理する者をいいます。	－
ノ	農家（団体）コード	本制度の運用の基礎となる牛の管理者のコード番号で、飼養地、所在地毎に1つの番号が付されます。「管理者コード」を指します。	3
ノ	農家マスタ	牛の出生等の届出を受理し、牛個体識別台帳に記録するため、あらかじめ登録されている管理者等の氏名（法人の場合はその名称）、住所及び連絡先（電話番号）、飼養施設の所在地等の情報の総称。	－

その他、平成15年9月に農林水産省とセンターの連名で発出した「牛トレーサビリティ制度の実施の手引き」（生産・と畜段階）をご参照ください。

詳しくは、<https://www.id.nlbc.go.jp/data/manual.html> をご覧ください。

4. 種別(品種)の区分について

種別(品種)の区分について – 父牛と母牛の種別区分の整理 –

(本表の数字は、種別コードと一致していますので、届出の際にご活用ください。)

父の種別 母の種別		黒毛和種	褐毛和種	日本短角種	無角和種	黒毛× 褐毛	和牛間 交雑種	肉専用種	ホル スタイン種	ジャ ージー種	乳用種	交雑種
肉専用種	4 黒毛和種	4	8	10	10	8	10	11	3	3	3	11
	5 褐毛和種	8	5	10	10	8	10	11	3	3	3	11
	6 日本短角種	10	10	6	10	10	10	11	3	3	3	11
	7 無角和種	10	10	10	7	10	10	11	3	3	3	11
	8 黒毛×褐毛	8	8	10	10	8	10	11	3	3	3	11
	10 和牛間交雑種	10	10	10	10	10	10	11	3	3	3	11
	11 肉専用種	11	11	11	11	11	11	11	3	3	3	11
乳用種	1 ホルスタイン種	3	3	3	3	3	3	3	1	12	12	3
	2 ジャージー種	3	3	3	3	3	3	3	12	2	12	3
	12 乳用種	3	3	3	3	3	3	3	12	12	12	3
※	3 交雑種	11	11	11	11	11	11	11	3	3	3	11

※は乳用種×肉専用種(F1)

【種別の判定基準】

- 肉専用種及び乳用種の区分の中で、黒毛和種、ホルスタイン種等を判定する場合、次のような種別を証明する書類が発行されているか、もしくは発行が見込まれることが必要となります。
例：子牛登記証明書、登録証明書、授精証明書、種付証明書、体内・体外受精卵移植証明書など
- なお、ホルスタイン種で上記1の書類がない場合は、以下のすべての要件を満たしているかで判断願います。
 - 腹部及び尾房白色であり、
 - 四肢の全ての蹄冠部が黒毛又は赤毛が取り巻いていないこと

5. 各種様式及び関連規程

目 次


	頁
(1) 出生報告カード（F A X用）	… 33
(2) 異動報告カード（譲受け等、譲渡し等又は死亡の届出：F A X用）	… 34
(3) 出生一括報告カード（F A X用）	… 35
(4) 異動一括報告カード（F A X用）	… 36
(5) 家畜改良センター牛個体識別全国データベース修正に関する手続	… 37
・牛個体識別全国データベース修正請求書（別紙1：自らが届け出た事項の修正）	… 39
・牛個体識別全国データベース修正請求書（別紙2：他者が届け出た事項の修正）	… 40
・牛個体識別台帳の記録の確認及び届出書（別紙3）	… 41
(6) 独立行政法人家畜改良センター牛個体識別全国データベース利用規程	… 43
(7) 独立行政法人家畜改良センター家畜個体識別代行届出システム利用規約	… 60
(8) 牛個体識別全国データベースの情報の公表に関する手続	… 64

(1) 出生報告カード(FAX用)

表面

農家内整理 No. _____	
FAXによる届出(報告)先 FAX: 186-0037-80-2525 (専用ダイヤル) FAX: 186-0248-48-0593 (上記専用ダイヤルでつながらない場合)	
出生報告カード	
農家コード (10桁必須)	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
個体識別番号 (10桁必須)	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
生年月日	令和 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日 (電話音声応答による届出(報告)の場合) 0:当日 1:1日前 2:2日前 3:3日前 4:4日以前は和暦で届出(報告)
雌雄の別 (1つだけ○)	1. オス 2. メス
母牛個体識別番号 (10桁必須)	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
種別 (1つだけ○)	1. ホルスタイン種 2. ジャージー種 3. 交雑種(肉専用種×乳用種) 4. 黒毛和種 5. 褐毛和種 6. 日本短角種 7. 無角和種 8. 黒毛和種×褐毛和種 10. 和牛間交雑種(8以外) 11. 肉専用種(4~10以外) 12. 乳用種(1及び2以外)
送信者の連絡先	FAX番号: _____ <small>◎不明な点をFAXでご連絡しますので、連絡可能なFAX番号をご記入下さい。</small>

1 出生後、速やかに届出(報告)して下さい。
2 電話音声応答による届出(報告)は、当日に登録されますので、お急ぎの届出(報告)は電話音声応答をご利用下さい。
3 FAXによる届出(報告)は、受信してからオペレーターが入力しますので、登録されるまで1週間程度かかります。


(独)家畜改良センター
 NLBC

裏面

※FAX送信の場合、送信面は機種により異なりますので、ご確認のうえ操作願います。

出生報告カードの記入の仕方

子どもが生まれたら、この出生報告カードに必要事項を記入し、電話音声応答、FAX、パソコン、スマートフォン、タブレット端末により届出(報告)を行って下さい。

なお、FAXで届出(報告)される場合は、必要事項を記入した出生報告カードをFAX送信して下さい。

農家コード	子牛の管理者の農家コード(全10桁)を記入して下さい。
個体識別番号	子牛に装着した耳標の個体識別番号(全10桁)を記入して下さい。
生年月日	耳標を装着した子牛の生年月日を数字2桁で記入して下さい。(例: 令和 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日)
雌雄の別	「雌雄の別」の欄は、該当する数字を1つだけ選んで○で囲んで下さい。
母牛個体識別番号	分娩した母牛に装着されている耳標の個体識別番号(全10桁)を記入して下さい。
種別	「種別」の欄は、該当する数字を1つだけ選んで○で囲んで下さい。


※FAXで複数枚送信する場合、2枚重なって送信されることがありますので、ご注意ください。
※FAXで届出(報告)された後は、「送信エラー」となっていないか確認し、「送信エラー」であれば、再度、送信して下さい。
また、届出(報告)された内容が登録されますと、農家マスタに登録されているFAX番号に「個体識別番号決定通知書」が送信されますので確認して下さい。
※届出(報告)後は、正しく登録されているか牛の個体識別情報検索サービス(<https://www.id.nlbc.go.jp>)で確認し、届出(報告)後1週間経過しても確認できない場合は、(独)家畜改良センターにお問い合わせ下さい。
※この出生報告カードは、牛管理者の控え(保管用)として少なくとも当該牛が死亡又はと畜されるまでの間、大切に保管して下さい。

電話音声応答による届出(報告)先


パソコンによる届出(報告)先

スマートフォン等による届出(報告)先

TEL: 186-0037-80-1777 (専用ダイヤル)
TEL: 186-0248-48-0594 (上記専用ダイヤルでつながらない場合)
<https://www.id.nlbc.go.jp>
<https://www.id.nlbc.go.jp/CattleSearch/mobile/>

(問い合わせ先)  **(独)家畜改良センター 個体識別部**
 NLBC TEL: 0248-48-0596 メールアドレス: id@nlbc.go.jp

QRコードはこちらになります。➡




(2) 異動報告カード(FAX用)

表面

農家内整理 No. _____	
FAXによる届出(報告)先 FAX : 186-0037-80-2525 (専用ダイヤル) FAX : 186-0248-48-0593 (上記専用ダイヤルでつながらない場合)	
異動報告カード	
農家コード (10桁必須)	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
個体識別番号 (10桁必須)	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
異動内容 (1つだけ○)	1. 転入 2. 転出 3. 死亡
異動年月日 (飼養の開始、終了) (又は死亡年月日)	令和 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日 <div style="font-size: small;"> (電話音声応答による届出(報告)の場合) 0: 当日 1: 1日前 2: 2日前 3: 3日前 4: 4日以前は和暦で届出(報告) </div>
譲受け等又は譲渡し等の相手先コード	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <small>※相手先コードを記入して下さい(死亡の場合は、牛の死体の譲渡し等をした時の相手先コードを記入して下さい)。 ※相手先がコードを持っていない場合は、相手先の氏名又は名称及び連絡先(電話番号)を記入して下さい。</small>
送信者の連絡先	FAX番号: _____ <small>◎不明な点をFAXでご連絡しますので、連絡可能なFAX番号をご記入下さい。</small>

1 異動後、速やかに届出(報告)して下さい。
 2 「転入」とは、譲受け等に伴う飼養の開始であり、「転出」とは、譲渡し等に伴う飼養の終了です。
 3 電話音声応答による届出(報告)は、当日に登録されますので、お急ぎの届出(報告)は電話音声応答をご利用下さい。
 4 FAXによる届出(報告)は、受信してからオペレーターが入力しますので、登録されるまで1週間程度かかります。

 (独) 家畜改良センター

裏面

※FAX送信の場合、送信面は機種により異なりますので、ご確認のうえ操作願います。

異動報告カードの記入の仕方


牛が異動(転入、転出、死亡)したら、この異動報告カードに必要な事項を記入し、電話音声応答、FAX、パソコン、スマートフォン、タブレット端末により届出(報告)を行って下さい。


なお、FAXで届出(報告)される場合は、必要事項を記入した異動報告カードをFAX送信して下さい。

農家コード	牛の管理者の農家コード(全10桁)を記入して下さい。
個体識別番号	異動した牛に装着されている個体識別番号(全10桁)を記入して下さい。
異動内容	「異動内容」の欄は、該当する数字を1つだけ選んで○で囲んで下さい。
異動年月日	牛が異動した年月日(飼養の開始、終了又は死亡年月日)を数字2桁で記入して下さい。(例: 令和 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日)
譲受け等又は譲渡し等の相手先コード	①譲受け等(転入の場合)又は譲渡し等(転出の場合)の届出(報告)を行う時には、譲受け等又は譲渡し等の相手先のコードを記入して下さい。相手先の牛管理者が分からない場合には、牛の売買等を仲介する直接の移転先・移転元である農協・家畜商等の相手先コードを記入して下さい。 ②死亡の場合は、牛の死体の譲渡し等をした時の相手先コードを記入して下さい。 なお、相手先がコードを持っていない場合は、相手先の氏名又は名称及び連絡先(電話番号)を記入して下さい。

※FAXで複数枚送信する場合、2枚重なって送信されることがありますので、ご注意ください。
 ※FAXで届出(報告)された後は、「送信エラー」となっていないか確認し、「送信エラー」であれば、再度、送信して下さい。
 ※届出(報告)後は、正しく登録されているか牛の個体識別情報検索サービス(<https://www.id.nlbc.go.jp>)で確認し、届出(報告)後1週間経過しても確認できない場合は、(独)家畜改良センターにお問い合わせ下さい。
 ※牛の売買等を仲介する(農協・家畜商)場合、輸送期間を含め牛を1週間以上預かる時は届出(報告)が必要です。
 ※この異動報告カードは、牛管理者の控え(保管用)として少なくとも当該牛が死亡又はと畜されるまでの間、大切に保管して下さい。

電話音声応答による届出(報告)先	TEL: 186-0037-80-1777 (専用ダイヤル) TEL: 186-0248-48-0594 (上記専用ダイヤルでつながらない場合)
パソコンによる届出(報告)先	https://www.id.nlbc.go.jp
スマートフォン等による届出(報告)先	https://www.id.nlbc.go.jp/CattleSearch/mobile/

(問い合わせ先)  (独) 家畜改良センター 個体識別部
 NLBC TEL: 0248-48-0596 メールアドレス: id@nlbc.go.jp



(3) 出生一括報告カード(FAX用)

農協など、一度に複数頭の出生届出を行う場合に利用ください。

出生 一括報告カード

農家内整理 No. **FAX : 186-0037-80-2525** (専用)
FAX : 186-0248-48-0593

農家コード (10桁必須)											
No.	個体識別番号 上段・下段に5桁ずつ記入 (10桁必須)	生 年 月 日 (和暦6桁)	雌雄の別 (1つだけ○)	母牛個体識別番号 上段・下段に5桁ずつ記入 (10桁必須)	種 別 ※						
1	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div> <div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>	令和 年 月 日 <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div>	1. オス 2. メス	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div> <div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>	<div><div></div><div></div></div>						
2	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div> <div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>	令和 年 月 日 <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div>	1. オス 2. メス	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div> <div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>	<div><div></div><div></div></div>						
3	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div> <div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>	令和 年 月 日 <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div>	1. オス 2. メス	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div> <div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>	<div><div></div><div></div></div>						
4	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div> <div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>	令和 年 月 日 <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div>	1. オス 2. メス	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div> <div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>	<div><div></div><div></div></div>						
5	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div> <div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>	令和 年 月 日 <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div>	1. オス 2. メス	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div> <div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>	<div><div></div><div></div></div>						
6	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div> <div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>	令和 年 月 日 <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div>	1. オス 2. メス	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div> <div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>	<div><div></div><div></div></div>						
7	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div> <div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>	令和 年 月 日 <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div>	1. オス 2. メス	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div> <div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>	<div><div></div><div></div></div>						
8	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div> <div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>	令和 年 月 日 <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div>	1. オス 2. メス	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div> <div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>	<div><div></div><div></div></div>						
9	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div> <div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>	令和 年 月 日 <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div>	1. オス 2. メス	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div> <div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>	<div><div></div><div></div></div>						
10	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div> <div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>	令和 年 月 日 <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div>	1. オス 2. メス	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div> <div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>	<div><div></div><div></div></div>						

送信者の連絡先
FAX番号:

◎不明な点をFAXでご連絡しますので、連絡可能なFAX番号をご記入下さい。

※「種別」欄は、下記から該当する数字をひとつ選び、右詰めでご記入下さい。

- 1.ホルスタイン種 2.ジャージー種 3.交雑種(肉専用種×乳用種) 4.黒毛和種 5.褐毛和種 6.日本短角種
7.無角和種 8.黒毛和種×褐毛和種 10.和牛間交雑種(8以外) 11.肉専用種(4～10以外) 12.乳用種(1及び2以外)

《届出方法について》

○電話音声応答による届出(報告)は、当日に登録されますので、お急ぎの届出(報告)は電話音声応答をご利用下さい。
FAX届出(報告)は受信後にオペレーターが入力するため、登録に1週間程度かかります。

電話音声応答による届出(報告)先 ① **186-0037-80-1777** (専用)
② **186-0248-48-0594**

パソコンによる届出(報告)先 <https://www.id.nlbc.go.jp>
スマートフォン等による届出(報告)先 <https://www.id.nlbc.go.jp/CattleSearch/mobile/>

QRコードはこちら



NLBC (独) 家畜改良センター

(4) 異動一括報告カード(FAX用)

農協など、一度に複数頭の異動届出を行う場合に利用ください。

異動 一括報告カード

農家内整理 No. **FAX: 186-0037-80-2525** (専用)
FAX: 186-0248-48-0593

(転入・転出(※1)または死亡(※2)の届出用)

農家コード (10桁必須)			
No.	上段: 個体識別番号 (10桁必須)	上段: 異動内容 (1つだけ○)	上段: 異動年月日 (飼養の開始、終了又は死亡年月日)
	下段: 譲受け等又は譲渡し等の相手先コード (相手先コードを持たない場合には、譲受け等又は譲渡し等の相手先氏名又は名称及び連絡先(電話番号)を記入して下さい。)		
1		1. 転入 2. 転出 3. 死亡	令和 年 月 日
2		1. 転入 2. 転出 3. 死亡	令和 年 月 日
3		1. 転入 2. 転出 3. 死亡	令和 年 月 日
4		1. 転入 2. 転出 3. 死亡	令和 年 月 日
5		1. 転入 2. 転出 3. 死亡	令和 年 月 日
6		1. 転入 2. 転出 3. 死亡	令和 年 月 日
7		1. 転入 2. 転出 3. 死亡	令和 年 月 日
8		1. 転入 2. 転出 3. 死亡	令和 年 月 日
9		1. 転入 2. 転出 3. 死亡	令和 年 月 日
10		1. 転入 2. 転出 3. 死亡	令和 年 月 日
送信者の連絡先		FAX番号: ◎不明な点をFAXでご連絡しますので、連絡可能なFAX番号をご記入下さい。	

※1「転入」とは、譲受け等に伴う飼養の開始であり、「転出」とは、譲渡し等に伴う飼養の終了です。

※2「死亡」の場合、「譲受け等又は譲渡し等の相手先コード」欄に、牛の死体を譲渡し等した相手先コードをご記入下さい。

《届出方法について》

○電話音声応答による届出(報告)は、当日に登録されますので、お急ぎの届出(報告)は電話音声応答をご利用下さい。
 FAX届出(報告)は受信後にオペレーターが入力するため、登録に1週間程度かかります。

電話音声応答による届出(報告)先 ① **186-0037-80-1777** (専用)
 ② **186-0248-48-0594**

パソコンによる届出(報告)先 <https://www.id.nlbc.go.jp>
 スマートフォン等による届出(報告)先 <https://www.id.nlbc.go.jp/CattleSearch/mobile/>

QRコードはこちら



NLBC (独) 家畜改良センター

(5)家畜改良センター牛個体識別全国データベース修正に関する手続

牛個体識別全国データベースの記録の修正等に関する手続

21 独家セ第1635号

平成22年3月1日

(目的)

第1条 この手続は、牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法(平成15年法律第72号、以下「法」という。)第3条に規定された牛個体識別台帳及びその他関連する記録事項(以下「牛個体識別全国データベース」という。)について、牛の管理者が正確な記録を確保するために行う申出及び記録事項を変更する場合に行う届出に関する手続を定めることにより、牛個体識別全国データベースの適切な管理を行うことを目的とする。

(牛の管理者からの申出)

第2条 牛の管理者は、牛個体識別台帳に記録の漏れ(届出は行ったが、届出内容の誤り等により記録されていない場合を含む。)又は誤りがあることを知ったときは、漏れ又は誤りがある事項及び新たに記録すべき内容等について申し出るものとする。

(記録の修正)

第3条 牛の管理者は、前条の規定により申出を行う場合は、次の方法により独立行政法人家畜改良センター理事長(以下「理事長」という。)あてに記録の修正を申し出るものとする。

(1) 自らが届け出た事項について修正を行うとき

牛の管理者は、別紙1又は電子的な方法により申し出るものとする。なお、誤りのあった記録を消去する場合には、必要に応じ法第8条、第11条及び第13条に基づく届出を行うものとする。

(2) 他の管理者が届け出た事項について修正を行うとき

牛の管理者は、誤りがあることを証する書面を添付し、別紙2により申し出るものとする。

2 前項の規定において別紙1又は別紙2により申出を行うときは、電子メール又は郵送により行うものとする。

3 第1項の規定において電子的な方法による申出は、独立行政法人家畜改良センターインターネット修正受付システム利用規約(平成18年7月1日付け18独家セ第343号)により行うものとする。

4 理事長は、第1項(2)の規定により申出があった事項を届け出た管理者に対し、別紙3により記録の確認等(現在の記録の消去並びに法第8条、第11条及び第13条に基づく届出への同意を含む。)を求めることができる。

(記録の変更)

第4条 牛の管理者は、牛個体識別台帳に記録されている事項に変更があったときは、別紙4又はこれに準じた様式により、法第12条に基づく届出を行うものとする。

(その他関連する記録事項)

第5条 その他関連する記録事項の取扱いは、前3条に準じて行うことができるものとする。

附 則

1 この手続は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

1 この手続は、令和6年3月25日から施行する。

別紙 1（第 3 条第 1 項（1）関係）（自らが届け出た事項の修正）

牛個体識別台帳の記録の修正請求書

年 月 日

独立行政法人家畜改良センター理事長 殿

氏名又は名称（代表者名を含む。）

印※1

住所

管理者等の
コード番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

牛個体識別全国データベースの記録の修正等に関する手続（平成 22 年 3 月 1 日付け 21 独家セ第 1635 号）第 3 条第 1 項（1）の規定により、自らが届け出た事項について、誤りのあった記録の※2修正を申し出ます。また、牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法第 8 条、第 11 条及び第 13 条に基づく届出とします。

記

1 記録の修正を行う牛の個体識別番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 修正の内容

- ☐ 生年月日 ☐ 雌雄の別 ☐ 母牛個体識別番号 ☐ 種別
☐ 転入日 ☐ 転出日 ☐ 死亡日
☐ 転入相手先コード ☐ 転出相手先コード ☐ 死亡牛譲渡先コード
☐ その他※3（ ）

修正後の正しい記録 (消去の場合は「消去」と記入する。)	修正前の誤った記録 (現在の記録の内容を記入する。)

3 連絡先（メールアドレス、電話番号、FAX 番号）

4 その他

（日本工業規格 A 4）

備考

※1 電子メールにより申出を行うときには、押印を省略できる。

※2 記録の消去を申し出る場合は、「消去を申し出ます。」とし、「また」以降の届出を省略するものとする。

※3 修正内容「その他」を選択したときには、具体的な修正内容を記載すること。

別紙2（第3条第1項（2）関係）（他の管理者が届け出た事項の修正）

牛個体識別台帳の記録の修正請求書

年 月 日

独立行政法人家畜改良センター理事長 殿

氏名又は名称（代表者名を含む。）

印※1

住所

管理者等のコード番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

牛個体識別全国データベースの記録の修正等に関する手続（平成22年3月1日付け21独家セ第1635号）第3条第1項（2）の規定により、他の管理者が届け出た事項について、記録の誤りがあるのでその誤りを証する書類を添付し申し出ます。

記

1 記録の誤りがある牛の個体識別番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 修正の内容

- ☐生年月日 ☐雌雄の別 ☐母牛個体識別番号 ☐種別
☐転入日 ☐転出日 ☐死亡日
☐転入相手先コード ☐転出相手先コード ☐死亡牛譲渡先コード
☐その他※2（ ）

正しい記録	誤った記録

3 連絡先（メールアドレス、電話番号、FAX番号）

4 正しい内容を証す書類（必ず添付すること）

部

5 その他

（日本工業規格A4）

備考

※1 電子メールにより申出を行うときには、押印を省略できる。

※2 修正内容「その他」を選択したときには、具体的な修正内容を記載すること。

牛個体識別台帳の記録の確認依頼及び届出書

様

〒 961-8511 福島県西白河郡西郷村大字小田倉字小田倉原 1 番地
 独立行政法人家畜改良センター個体識別部
 TEL 0248-48-0596 FAX 0248-48-0581
 メールアドレス id@nlbc.go.jp

貴殿から届出があった事項について、牛個体識別台帳の記録に誤りがある旨の申出がありました。下記内容及び添付しました証拠書類をご確認の上、年 月 日までに電子メール、郵送又は F A X にて返信していただきますようお願いいたします。

記

1 確認依頼内容

牛個体識別番号 ○○○○○○○○○○	現在の記録	他の管理者から 申出のあった記録
生 年 月 日		
雌 雄 の 別		
母 牛 個 体 識 別 番 号		
種 別		
異動(転入・転出・死亡)年月日		
そ の 他		

2 記録の確認及び届出について (a、b 又は c のいずれかに○をつけてください。)

a. 現在の記録が正しい内容です。 b. 他の管理者から申出のあった記録が正しいと確認できました。 c. 確認できないが、申出内容について異議はありません。

※上記 b 又は c に○を付けた場合、以下についても同意があったものといたします。

現在の記録を消去するとともに、他の管理者から申出のあった記録を、牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法(平成 15 年法律第 72 号)第 8 条、第 11 条及び第 13 条に基づく届出とします。

3 管理者の氏名又は名称及びコード番号

コード番号

氏名又は名称

問合せ番号

証拠書類番号

年 月 日

別紙 4 (第 4 条関係)

牛個体識別台帳の記録の変更届出書

年 月 日

独立行政法人家畜改良センター理事長 殿

氏名又は名称 (代表者名を含む。)

印*

住所

管理者等のコード番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

牛個体識別全国データベースの記録の修正等に関する手続 (平成 22 年 3 月 1 日付け 21 独家セ第 1635 号) 第 4 条の規定により、牛個体識別台帳に記録されている事項に変更があったので牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法 (平成 15 年法律第 72 号) 第 12 条に基づき届け出ます。

記

1 変更の内容

変更後の記録	変更前の記録

2 変更年月日

年 月 日

3 連絡先 (メールアドレス、電話番号、FAX 番号)

(日本工業規格 A 4)

備考

※ 電子メールにより申出を行うときには、押印を省略できる。

(6)独立行政法人家畜改良センター牛個体識別全国データベース利用規程

独立行政法人家畜改良センター牛個体識別全国データベース利用規程

21 独家セ第1121号

平成21年10月28日

目次

第1章 総則（第1条・第2条）

第2章 情報の利用手続（第3条―第9条）

第3章 雑則（第10条―第14条）

附則

第1章 総則

（目的）

第1条 この規程は、独立行政法人家畜改良センター（以下「センター」という。）が管理する牛個体識別全国データベースの情報について、その利用に関する手続に必要な事項を定めることにより、牛個体識別全国データベースの情報が有効かつ公正に利用されることを目的とする。

（定義）

第2条 この規程において「法」とは、牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法（平成15年法律第72号）をいう。

2 この規程において「牛個体識別全国データベース」とは、法第三条に規定された牛個体識別台帳に記録された事項及びその他関連する記録事項をいう。

3 この規程において「利用者」とは、牛個体識別全国データベースの情報を取得（センターがインターネットの「牛の個体識別情報検索サービス」のホームページで公表した情報の取得を除く。以下同じ。）し、利用しようとする者をいう。

4 この規程において「管理者」とは、牛の所有者その他の牛を管理する者であり、法第二条第2項に規定された「管理者」をいう。

5 この規程において「同意管理者」とは、自己の情報を、第三者が取得することに同意した管理者をいう。

6 この規程において「管理者牛群情報」とは、牛個体識別全国データベースの情報のうち、個体識別番号等別表に掲げる情報を管理者ごとにまとめたものをいう。

7 この規程において「集計情報」とは、牛個体識別全国データベースの情報を一定の条件下で抽出し、集計したものをいう。

8 この規程において「オンライン情報提供システム」とは、畜産関係者が牛の個体識別情報を活用して我が国の畜産振興に係る業務を適正、安定的かつ効率的に行うことを目的として、イントラネット、インターネット等の情報通信技術の利用により、安定的かつ効率的な管理者牛群情報等の閲覧又は電子データでの取得が可能となるよう構築されたシステムとして独立行政法人家畜改良センター理事長（以下「理事長」という。）が認めたものをいう。

第2章 情報の利用手続

(取得できる情報及び取得の要件)

第3条 取得できる情報及び取得の要件は、次のとおりとする。

(1) 個人情報を含まない情報の取得

利用者は、集計情報その他の個人情報を含まない情報の取得を希望する場合は、その情報の利用が各種制度や行政施策の適正な執行、畜産経営の高度化、畜産物の適正な流通等に資するものであると理事長が認めた場合において、これを取得することができる。

(2) 個人情報を含む情報の取得

イ 利用者は、自己の管理者牛群情報その他の情報の取得を希望する場合は、これを取得することができる。

ロ 利用者は、利用者以外の管理者牛群情報その他の個人情報を含む情報の取得を希望する場合は、あらかじめ当該管理者の同意を得た場合において、これを取得することができる。

ハ 利用者が、畜産、食品の安全のための業務を行う国及び地方公共団体の畜産部局、家畜衛生部局、統計部局、食品の安全部局並びに牛海綿状脳症（BSE）まん延防止に関する業務を行う独立行政法人であって、所管する地域内に属する管理者の管理者牛群情報その他の個人情報を含む情報の取得を希望する場合は、その情報の利用が職務上必要であると理事長が認めた場合において、これを取得することができる。

ニ イからハの規定にかかわらず、利用者は、管理者牛群情報その他の個人情報を含む情報を利用することについて相当な理由があると理事長が認めた場合において、これを取得することができる。

(利用請求の手続)

第4条 前条の規定により情報を取得する場合の手続は、それぞれ次に定める方法により行い、農林水産省共通申請サービス（以下「eMAFF」という。）、電子メール、郵送等にて請求するものとする。ただし、オンライン情報提供システムにより情報を取得しようとする場合は、当該システムの管理者が定める利用登録手続等を行うことにより本条の規定に基づく利用請求に代えることができるものとする。

(1) 前条(1)の規定により情報を取得しようとする場合は、その情報の利用が各種制度や行政施策の適正な執行、畜産経営の高度化又は畜産物の適正な流通等に資するものであることを明記の上、理事長あてに別紙1により利用請求しなければならない。

(2) 前条(2)のイの規定により情報の取得を希望する場合は、理事長あてに別紙2により利用請求しなければならない。

(3) 前条(2)のロの規定により情報を取得しようとする場合は、当該管理者からの同意書（電磁的記録を含む）を添えて、理事長あてに別紙3により利用請求しなければならない。

ただし、利用者が当該管理者から取り付けた各同意内容について責任を持って問い合わせ対応窓口を行う場合に限り、利用者は、当該管理者の管理者コード、氏名又は名称、飼養地住所等の一覧を同意書に代えて添付できるものとする。この場合、管理者からの同意書は、センターから求められた際に提示できるように、利用者が保管（電磁的記録を含む）するものとする。

(4) 前条(2)のハの規定により情報を取得しようとする場合は、その情報の利用が職

務上必要であることを明記の上、理事長あてに別紙4により利用請求しなければならない。ただし、国の機関からの緊急的な要請であって、かつ、理事長が特に認めた場合は、この限りではない。

- (5) 前条(2)の二の規定により情報を取得しようとする場合は、当該情報を利用することについて相当な理由があることを明記の上、理事長あてに利用者の氏名又は名称、住所、連絡先、利用目的及び利用する情報の範囲を明記した任意の様式により利用請求しなければならない。

(情報の提供)

第5条 理事長は、前条各号の規定により利用者から利用請求があった内容が適当であると認めた場合、当該利用者に対し、牛個体識別全国データベースの情報を提供するものとする。

なお、理事長は、提供に当たって、当該利用者に対し、必要な条件を付することができる。

- 2 理事長は、前項の規定により情報を提供する場合は、印刷物若しくはCD等の電子記録媒体の送付、電子メール、eMAFF、又はオンライン情報提供システムにより行うものとする。

なお、理事長は、オンライン情報提供システムにより情報を提供する場合は、利用者に対し利用者コード、パスワード等利用者情報（以下「利用者情報」という。）を通知するものとする。

(費用の負担)

第6条 利用者は、センターが情報提供を行うために必要な費用を負担するものとする。ただし、理事長が特に認めた場合は、センターが情報提供を行うために必要な費用の全部又は一部を免除することができるものとする。

(委託契約の締結)

第7条 第4条各号の規定により利用請求した利用者が、理事長と情報提供に係る委託契約を締結する場合は、「独立行政法人家畜改良センター受託業務規程」（平成19年3月29日付け18独家セ第1496号）の規定に基づき行うものとする。

(利用請求内容の変更等)

第8条 第4条各号の規定により利用請求した内容に変更等があった場合の手続は、それぞれ次に定める方法により行い、eMAFF、電子メール、郵送等にて請求するものとする。

- 1 利用者は、第4条各号の規定により利用請求した内容（担当者の連絡先を除く）に変更があった場合は、速やかに理事長あてに別紙5により変更を届け出なければならない。なお、担当者の連絡先に変更があった場合は、センター担当者あてに任意の様式により通知するものとする。
- 2 第4条(3)により利用請求した利用者が、あらたに同意管理者を追加しようとする場合は、当該同意管理者からの同意書を添えて、理事長あてに別紙6により請求しなければならない。
- 3 第4条(3)により利用請求した利用者が、一部の同意管理者の同意を解除しようとする場合は、理事長あてに別紙7により当該同意管理者の解除を届け出なければならない。

らない。

(4) 同意管理者が、同意の取消を希望する場合は、理事長あてに別紙8により同意取消申請書を提出することができる。

この場合、理事長は、当該同意管理者に係る牛個体識別全国データベースの情報の提供を中止するとともに、利用者及び当該同意管理者にその旨を通知するものとする。

(利用の中止)

第9条 利用者が、牛個体識別全国データベースの情報の取得を中止しようとする場合は、理事長あてに別紙9により、eMAFF、電子メール、郵送等にて、利用の中止を届け出なければならない。

第3章 雑則

(取得した情報等の取扱い)

第10条 第4条(2)から(5)の規定により当該管理者以外の個人情報を含む情報を取得した利用者は、個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）等を遵守し、取得した個人情報を適切に取り扱わなければならない。

2 第4条(1)の規定により集計情報その他の個人情報を含まない情報を取得した利用者は、印刷物等による出版又は電子的方法による発表等、取得した情報を第三者に提供する際に情報の出典を明らかにするものとする。

3 第5条第2項の規定により利用者情報を通知された利用者は、通知された利用者情報を、第三者に知られることのないように適切に管理しなければならない。

(不当な利用を行った者に対する利用の停止等)

第11条 理事長は、この規程に違反する行為又は不正若しくは違法な行為によって牛個体識別全国データベースの情報を取得し利用した者（以下「違反者」という。）に対して、提供した情報の返還を求めるとともに、当該違反者が情報管理体制等の改善措置を講ずるまでの間、情報の提供を停止することができる。

(損害賠償)

第12条 理事長は、利用者が、この規程に違反する行為又は不正若しくは違法な行為（以下「違反行為等」という。）によってセンターに損害を与えた場合は、当該利用者に対し損害の賠償を請求できる。

2 前項の規定は、牛個体識別全国データベースの情報の提供を停止又は中止した後に行われた違反行為等による損害に対しても適用されるものとする。

(非常事態等における情報提供の一時停止)

第13条 理事長は、天災、事変、その他の非常事態が発生し、又は発生するおそれがある場合、システムの保守を定期的若しくは緊急に行う場合、又は電気通信設備の障害その他やむを得ない事由が生じた場合は、牛個体識別全国データベースの情報の提供を一時停止することができる。

2 理事長は、前項の規定により牛個体識別全国データベースの情報の提供を一時停止する場合は、緊急の場合を除き、利用者に対し、その旨を通知するものとする。

(免責事項)

第 14 条 この規程による牛個体識別全国データベースの情報の提供に関連して生じた損害（第三者が被る損害を含む）についてセンターは責任を負わない。

附 則

- 1 この規程は、平成 21 年 10 月 28 日より施行する。
- 2 独立行政法人家畜改良センター牛個体識別全国データベースの利用等に関する手続き（平成 15 年 12 月 1 日付け 15 独家セ第 1094 号）は、この規程の施行をもって廃止する。
- 3 独立行政法人家畜改良センター牛個体識別全国データベースのイントラネット利用手続きについて（平成 15 年 12 月 1 日付け 15 独家セ第 1096 号）は、この規程の施行をもって廃止する。

附 則

この規程は、平成 31 年 1 月 7 日から施行する。

附 則

この規程は、令和 5 年 9 月 14 日から施行する。なお、eMAFF に関する記載については、eMAFF によるサービスの利用が可能となった日から施行する。

附 則

この規程は、令和 6 年 3 月 25 日から施行する。

別表

管理者牛群情報として提供される情報

区分	事項名
国内出生牛	個体識別番号
	生年月日
	雌雄の別
	牛の種別
	母牛の個体識別番号
	飼養地
	異動内容・異動年月日 <div> <div>家畜市場へ上場の場合、家畜市場名</div> <div>とさつの場合、と畜場の名称</div> <div>輸出の場合、輸出先の国名</div> </div>
輸入牛	個体識別番号
	生年月日
	雌雄の別
	牛の種別
	輸出国名
	検疫を受けた動物検疫所名（又は支所名）
	飼養地
	異動内容・異動年月日 <div> <div>家畜市場へ上場の場合、家畜市場名</div> <div>とさつの場合、と畜場の名称</div> <div>輸出の場合、輸出先の国名</div> </div>

注）上記事項名の仮情報（牛個体識別全国データベースの円滑な管理が行えるよう、仮のデータが入力された情報）も含む。

別紙 1（第 4 条（1）関係）

独立行政法人家畜改良センター牛個体識別全国データベース利用請求書

年 月 日

独立行政法人家畜改良センター理事長 殿

利用者
氏名又は名称

住所又は所在地

「独立行政法人家畜改良センター牛個体識別全国データベース利用規程」第 4 条(1)の規定に基づき、下記について請求します。

記

1 利用目的

2 利用する情報の範囲

3 担当者の連絡先

- ・所属部課名（担当者名）：
- ・電話番号：
- ・メールアドレス：

4 情報提供の方法

- ・提供方法： ☐eMAFF ☐電子メール ☐郵送
- ・提供形態： ☐データファイル ☐画像ファイル ☐印刷物

5 その他

注）取得した情報の利用が各種制度や行政施策の適正な執行、畜産経営の高度化又は畜産物の適正な流通等に資するものであることを明記すること。

（日本工業規格 A 4）

別紙 2 (第 4 条 (2) 関係)

独立行政法人家畜改良センター牛個体識別全国データベース利用請求書

年 月 日

独立行政法人家畜改良センター理事長 殿

利用者 (牛の管理者)

氏名又は名称

管理者等

コード番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

「独立行政法人家畜改良センター牛個体識別全国データベース利用規程」第 4 条 (2) の規定に基づき、下記について請求します。

記

1 利用目的

2 利用する情報の範囲

3 利用者 (牛の管理者) の連絡先

- ・電話番号：
- ・メールアドレス：

4 情報提供の方法

- ・提供方法： ☐ eMAFF ☐ 電子メール ☐ 郵送
- ・提供形態： ☐ データファイル ☐ 画像ファイル ☐ 印刷物

5 その他

注) 取得した情報を、第三者へ提出する場合は、提出先を記入してください。

(日本工業規格 A 4)

別紙3（第4条（3）関係）

独立行政法人家畜改良センター牛個体識別全国データベース利用請求書

年 月 日

独立行政法人家畜改良センター理事長 殿

利用者
氏名又は名称

住所又は所在地

注1) 管理者等
コード番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

「独立行政法人家畜改良センター牛個体識別全国データベース利用規程」第4条(3)の規定に基づき、別添のとおり当該管理者の同意書を添え、下記について請求します。

記

1 利用目的

2 利用する情報の範囲

3 担当者の連絡先

- ・所属部課名（担当者名）：
- ・電話番号：
- ・メールアドレス：

4 情報提供の方法

- ・提供方法： ☐eMAFF ☐電子メール ☐郵送 ☐オンライン情報提供システム
- ・提供形態： ☐データファイル ☐画像ファイル ☐印刷物

5 その他の連絡事項

注1) 本様式で請求する利用者が管理者等コード番号を有している場合は、番号を記入すること。

注2) 第4条（3）のただし書きの規定に基づき、同意管理者の同意書に代えて、管理者等コード番号、氏名又は名称、飼養地住所等の一覧を添付して請求する場合は、本様式に準じて利用請求書を作成すること。

（日本工業規格A4）

別添

同 意 書

年 月 日

独立行政法人家畜改良センター理事長 殿

注 1)
同意管理者
氏名又は名称

本人の確認
☐

飼養地住所

管理者等
コード番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

私は、「独立行政法人家畜改良センター牛個体識別全国データベース利用規程」第 4 条(3)の規定により、下記 1 の利用者が、下記 2 の利用目的のため、家畜改良センターより、牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法施行規則（平成 15 年農林水産省令第 72 号）第 6 条に係る私の情報を取得することに同意します。

記

1 利用者 注 2)

2 利用目的 注 3)

注 1) 同意管理者が複数の場合は、氏名又は名称の欄に「別記のとおり」と記入し、別記に同意管理者の管理者コード、氏名又は名称、飼養地住所及び本人の確認を記入すること。

注 2) 別紙 3 の利用者について、氏名又は名称（所属部署まで）を記載するとともに、オンライン情報提供システム利用の場合は管理者等コード番号（利用者コード）を、その他の場合は担当者名を記載すること。

注 3) 別紙 3 の利用目的と一致すること。

（日本工業規格 A 4）

別記

同意管理者

管理者等 コード番号	氏名又は名称	飼養地住所	注) 本人の確認	備 考
			<input type="checkbox"/>	
			<input type="checkbox"/>	
			<input type="checkbox"/>	
			<input type="checkbox"/>	
			<input type="checkbox"/>	
			<input type="checkbox"/>	
			<input type="checkbox"/>	
			<input type="checkbox"/>	
			<input type="checkbox"/>	
			<input type="checkbox"/>	

注) 管理者牛群情報その他の個人情報を含む情報の取得について、当該管理者が同意した場合は、「本人の確認」の欄にチェックを記入すること。

(日本工業規格 A 4)

別紙 4（第 4 条（4）関係）

独立行政法人家畜改良センター牛個体識別全国データベース利用請求書

年 月 日

独立行政法人家畜改良センター理事長 殿

利用者
名 称

所在地

「独立行政法人家畜改良センター牛個体識別全国データベース利用規程」第 4 条(4)の規定に基づき、下記について請求します。

記

1 利用目的

2 利用する情報の範囲

3 担当者の連絡先

- ・所属部課名（担当者名）：
- ・電話番号：
- ・メールアドレス：

4 情報提供の方法

- ・提供方法： ☐eMAFF ☐電子メール ☐郵送
- ・提供形態： ☐データファイル ☐画像ファイル ☐印刷物

5 その他

注）取得した情報の利用が職務上必要であることを明記すること。

（日本工業規格 A 4）

別紙5（第8条（1）関係）

牛個体識別全国データベース利用請求変更届

年 月 日

独立行政法人家畜改良センター理事長 殿

利用者
氏名又は名称

住所又は所在地

注1) 利用者
コード

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

「独立行政法人家畜改良センター牛個体識別全国データベース利用規程」第8条（1）の規定に基づき、〇〇年〇〇月〇〇日付け利用請求書の内容について、下記のとおり変更したので届け出ます。

記

1 利用請求書の利用目的

2 変更内容 注2)

(1) 利用者に係る変更

項目	変更前	変更後

(2) 同意管理者に係る変更

(同意管理者等コード番号)

項目	変更前	変更後

(3) その他の変更

3 その他

注1) 利用者コードは、オンライン情報提供システムによる利用の場合に記入すること。

注2) 変更する項目についてのみ変更前及び変更後を記入すること。

(日本工業規格A4)

別紙6（第8条（2）関係）

牛個体識別全国データベース同意管理者追加利用請求書

年 月 日

独立行政法人家畜改良センター理事長 殿

利用者
氏名又は名称

住所又は所在地

注1) 利用者
コード

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

「独立行政法人家畜改良センター牛個体識別全国データベース利用規程」第8条（2）の規定に基づき、〇〇年〇〇月〇〇日付け利用請求書の同意管理者の追加を希望するので、別添のとおり当該管理者の同意書を添え、下記について請求します。

記

1 利用目的

2 追加する同意管理者の管理者等コード番号

3 担当者の連絡先

- ・所属部課名（担当者名）：
- ・電話番号：
- ・メールアドレス：

4 その他

注1) 利用者コードは、オンライン情報提供システムによる利用の場合に記入すること。

注2) 別紙3の別添による同意書を添付すること。

（日本工業規格A4）

別紙 7 (第 8 条 (3) 関係)

牛個体識別全国データベース同意管理者解除届

年 月 日

独立行政法人家畜改良センター理事長 殿

利用者
氏名又は名称

住所又は所在地

注) 利用者
コード

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

「独立行政法人家畜改良センター牛個体識別全国データベース利用規程」第 8 条 (3) の規定に基づき、〇〇年〇〇月〇〇日付け利用請求書の同意管理者の同意を解除するので、下記について届け出ます。

記

- 1 利用請求書の利用目的
- 2 解除する理由
- 3 解除する同意管理者の管理者等コード番号
- 4 担当者の連絡先
 - ・所属部課名 (担当者名) :
 - ・電話番号 :
 - ・メールアドレス :
- 5 その他

注) 利用者コードは、オンライン情報提供システムによる利用の場合に記入すること。

(日本工業規格 A 4)

別紙 8 (第 8 条 (4) 関係)

牛個体識別全国データベース同意管理者同意取消申請書

年 月 日

独立行政法人家畜改良センター理事長 殿

同意管理者
氏名又は名称

住所又は所在地

管理者等
コード番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

「独立行政法人家畜改良センター牛個体識別全国データベース利用規程」第 8 条 (4) の規定に基づき、下記の利用者が独立行政法人家畜改良センターより牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法施行規則（平成 15 年農林水産省令第 72 号）第 6 条に係る私の情報を取得することに関する同意の取消を希望するので、下記について申請します。

記

- 1 利用者の氏名又は名称
- 2 情報の取得に同意した利用目的
- 3 同意取消の理由
- 4 その他

(日本工業規格 A 4)

別紙 9（第 9 条関係）

牛個体識別全国データベース利用中止届

年 月 日

独立行政法人家畜改良センター理事長 殿

利用者
氏名又は名称

住所又は所在地

注) 利用者
コード

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

「独立行政法人家畜改良センター牛個体識別全国データベース利用規程」第 9 条の規定に基づき、〇〇年〇〇月〇〇日付け利用請求書で請求した情報について、下記のとおり利用を中止しますので届け出ます。

記

1 利用請求書の利用目的

2 利用を中止する理由

3 担当者の連絡先

- ・所属部課名（担当者名）：
- ・電話番号：
- ・メールアドレス：

4 その他

注) 利用者コードは、オンライン情報提供システムによる利用の場合に記入すること。

（日本工業規格 A 4）

(7)独立行政法人家畜改良センター家畜個体識別代行届出システム利用規約

独立行政法人家畜改良センター家畜個体識別代行届出システム利用規約

16 独家セ第1414号
平成17年2月28日

(適用範囲)

- 第1条 本規約は、「牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法」(平成15年法律第72号。以下「法」という。)に基づく牛個体識別情報の電子データによる届出の利便性を図るため、牛の管理者からの依頼により団体等が代行して行う届出(以下「代行届出」という。)における、インターネット届出、イントラ報告システム(ID連携)等の家畜個体識別届出システム(以下「届出システム」という。)の利用について定めるものである。
- 2 本規約は、代行届出を行う届出システムの利用者(以下「届出団体」という。)が、同システムの利用に当たって行う一切の行為に適用される。

(利用申請書)

- 第2条 届出団体は、届出システムを代行届出により利用する場合は、本規約に同意の上、別紙の家畜個体識別届出システム代行届出利用申請書により独立行政法人家畜改良センター理事長(以下「理事長」という。)に利用申請しなければならない。
- 2 届出団体が、牛の管理者より同意を得て、届出システムにより牛個体識別全国データベースから当該管理者の個人情報入手し、代行届出を行う場合は、原則として「独立行政法人家畜改良センター牛個体識別全国データベース利用規程」(平成21年10月28日付け21独家セ第1121号。以下「利用規程」という。)第4条(3)の規定に基づき、当該管理者からの同意書を添えて、理事長あてに利用規程別紙3による利用請求又はこれに準じる利用申込みを行わなければならない。
- 3 届出団体が、新たに同意管理者を追加しようとする場合は、利用規程第8条(2)の規定に基づき、当該管理者からの同意書を添えて、理事長あてに利用規程別紙6による追加利用請求又はこれに準じる追加利用申込みを行わなければならない。
- 4 届出団体が、同意管理者の同意を解除しようとする場合は、利用規程第8条(3)の規定に基づき、理事長あてに利用規程別紙7又はこれに準じる解除届出又はこれに準じる解除届出を行わなければならない。
- 5 同意管理者が同意の取消を希望する場合は、利用規程第8条(4)の規定に基づき、理事長あてに利用規程別紙8による取消申請又はこれに準じる同意取消申請を行うことができる。

(遵守義務)

- 第3条 届出団体は、届出システムを利用するに当たって、以下の条件を遵守しなければならない。
- (1) 法に基づく届出に関する業務以外には利用しないこと。
 - (2) 他人の財産やプライバシーを侵害する行為を行わないこと。
 - (3) 国内外のネットワークの規則に反する行為や法令に違反、又は違反するおそれのある行為を行わないこと。
 - (4) 牛の管理者からの依頼に基づき代行届出を行うこと。なお、その際、参考1又は参考2の例に倣って代行届出に関する覚書の締結、若しくは代行届出の依頼に関する手続きを行い、法に基づく届出を行う者を明確にしておくこと。

(システム内容の変更等)

第4条 理事長は利用規程の改正等により届出システムの内容を変更することがある。

2 理事長は、コンピュータ又は回線等の障害、保守作業、その他やむを得ない事由により、届出システムの中断、遅延、又は提供を中止することがある。

3 届出団体が不正若しくは違法な行為によって独立行政法人家畜改良センターに損害を与えた場合には、理事長は届出団体に対して損害を請求できるものとする。

(免責事項)

第5条 理事長は、届出システムの利用により又は利用できなかったことにより生じた届出団体又は第三者の損害に対して、いかなる責任も負わないものとする。

附 則

1 この規約は、平成17年2月28日から施行する。

2 「独立行政法人家畜改良センター牛个体識別インターネット代理報告システム利用規約」(平成16年3月31日15独家セ第1673号)は、この規約の施行をもって廃止する。

附 則

1 この規約は、平成20年7月1日から施行する。

附 則

1 この規約は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

1 この規約は、平成21年10月28日から施行する。

附 則

1 この規約は、令和元年6月26日から施行する。

附 則

1 この規約は、令和6年3月25日から施行する。

別紙

家畜個体識別届出システム代行届出利用申請書

年 月 日

独立行政法人家畜改良センター理事長 殿

家畜個体識別届出システムの代行届出による利用について、以下のとおり申請します。
なお、利用に当たっては「独立行政法人家畜改良センター家畜個体識別代行届出システム利用規約」（平成17年2月28日16独家セ第1414号）に同意のうえ、これを遵守することを誓います。

※ すべて記入してください

届出団体名

管理者等コード番号
(10桁数字)

住所又は所在地

担当者名

副担当者名

電話番号

FAX 番号

メールアドレス

届出方法

1 インターネット届出

2 イントラ報告システム（ID連携）

（日本工業規格A4）

【所属団体以外の代行届出（報告）者用】

届出Webシステム「繋養および在庫耳標一覧」表示機能利用申込書

年 月 日

独立行政法人家畜改良センター理事長 殿

利用者
(代行届出(報告)者)
氏名又は名称

住所又は所在地

管理者等

コード番号(10桁)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

届出Webシステムにおける代行による届出（報告）を行うに当たり、対象管理者（被代行届出（報告）者）にかかる「繋養および在庫耳標一覧」の表示機能を利用したいので、別添（別記）のとおりに対象管理者の同意書又は「代行届出（報告）に関する覚書」^{注）}の写しを添えて申し込みます。

なお、届出Webシステムで取得した情報については、下記1の利用目的以外に使用しないことを確約します。

記

1 利用目的

2 利用者（担当者）の氏名及び連絡先

・利用者の所属部課名及び担当者氏名

・利用者の電話番号、FAX番号、Eメールアドレス等

注）代行届出（報告）に関する覚書とは、届出Webシステムで代行届出（報告）を利用するに当たり、被代行届出（報告）者との間で締結された書面をいう。

（日本工業規格A4）

(8)牛個体識別全国データベースの情報の公表に関する手続

牛個体識別全国データベースの情報の公表に関する手続

21 独家セ第1634号

平成22年3月1日

令和7年1月20日改正

(目的)

第1条 この手続は、独立行政法人家畜改良センターが管理している牛個体識別全国データベースに記録されている情報について、インターネット等による公表に関する手続を定めることにより、牛個体識別全国データベースの情報の公表を適切に行うことを目的とする。

(情報の公表)

第2条 独立行政法人家畜改良センター理事長（以下「理事長」という。）は、牛の管理者の同意があった場合は、当該管理者が届出した氏名又は名称及び飼養施設の所在地に係る情報（以下「飼養地情報」という。）をインターネット等で公表することができるものとする。

2 理事長は、化製場、死亡獣畜取扱場等死亡牛の譲渡し先の同意があった場合は、届出された当該譲渡し先の氏名又は名称及び住所に係る情報（以下「死亡牛の譲渡し先情報」という。）をインターネット等で公表することができるものとする。

3 牛の管理者が、飼養地情報の公表に同意する場合は、別紙1又は電磁的手法（以下「届出Webシステム」という。）により行うものとする。

4 化製場、死亡獣畜取扱場等死亡牛の譲渡し先が、死亡牛の譲渡し先情報の公表に同意する場合は、別紙2により行うものとする。

5 別紙1及び別紙2は電子メール又は郵送にて提出するものとする。

(同意の取消)

第3条 前条第3項の規定により同意した者が、その同意の取消を希望する場合は、理事長あてに別紙3又は届出Webシステムにより申し出るものとする。

2 前条第4項の規定により同意した者が、その同意の取消を希望する場合は、理事長あてに別紙4により申し出るものとする。

3 別紙3及び別紙4は、電子メール又は郵送にて提出するものとする。

(公表の中止)

第4条 理事長は、前条第1項の規定による同意取消の申出があった場合、直ちに申出があった者の飼養地情報について、インターネット等による公表を中止するものとする。

2 理事長は、前条第2項の規定により同意取消の申出があった場合、直ちに申出があった者の死亡牛の譲渡し先情報について、インターネット等による公表を中止するものとする。

(その他)

第5条 理事長は、第2条の規定によりインターネット等で公表している飼養地情報又は死亡牛の譲渡し先情報について、その公表を中止することに相当の理由があり、かつ緊急を要する場合に限り、前条の規定によらず、インターネット等による公表を一時中止することができるものとする。

附 則

1 この手続は、平成22年4月1日より施行する。

2 独立行政法人家畜改良センター牛個体識別全国データベースの修正、情報の公表に関する手続き（平成15年12月1日付け15独家セ第1095号）第6条の規定に基づき同意した者は、別に申出のない限り、この手続により同意したものとする。

3 独立行政法人家畜改良センター牛個体識別全国データベースの修正、情報の公表に関する手続

き（平成１５年１２月１日付け１５独家セ第１０９５号）は、この手続の施行をもって廃止する

- ４ 独立行政法人家畜改良センター牛個体識別全国データベースの修正、情報の公表に関する手続きの運用について（平成１５年１２月１日付け１５独家セ第１０９５号）は、この手続の施行をもって廃止する。

附 則

- １ この手続は、令和７年１月２０日より施行する。

別紙 1（第 2 条第 1 項関係）

飼養地情報の公表の同意書

年 月 日

独立行政法人家畜改良センター理事長 殿

氏名又は名称

本人の確認
注)

☐

住所

管理者等
コード番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

独立行政法人家畜改良センターが管理している牛個体識別全国データベースに登録されている情報のうち、私の氏名又は名称及び飼養施設の所在地に係る情報について、牛個体識別全国データベースの情報の公表に関する手続（平成 22 年 3 月 1 日付け 21 独家セ第 1634 号）第 2 条第 1 項の規定により、インターネット等による公表に同意します。

家畜改良センターから照会する際の連絡先（メールアドレス、電話番号等）

注）飼養地情報の公表について、当該管理者が同意した場合は、「本人の確認」の欄にチェックを記入すること。

（日本工業規格 A 4）

別紙 2（第 2 条第 2 項関係）

死亡牛の譲渡し先情報の公表の同意書

年 月 日

独立行政法人家畜改良センター理事長 殿

氏名又は名称

本人の確認
注)

☐

住所

死亡牛の譲渡し先として
登録されたコード番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

独立行政法人家畜改良センターが管理している牛個体識別全国データベースに記録されている情報のうち、私の氏名又は名称及び住所に係る情報について、牛個体識別全国データベースの情報の公表に関する手続（平成 22 年 3 月 1 日付け 21 独家セ第 1634 号）第 2 条第 2 項の規定により、インターネット等による公表に同意します。

家畜改良センターから照会する際の連絡先（メールアドレス、電話番号等）

注) 死亡牛の譲渡し先情報の公表について同意した場合は、「本人の確認」の欄にチェックを記入すること。

（日本工業規格 A 4）

別紙 3（第 3 条第 1 項関係）

飼養地情報の公表の同意取消書

年 月 日

独立行政法人家畜改良センター理事長 殿

氏名又は名称

本人の確認
注)

☐

住所

管理者等
コード番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

牛個体識別全国データベースの情報の公表に関する手続（平成 22 年 3 月 1 日付け 21 独家セ第 1634 号）第 3 条第 1 項の規定により、私の氏名又は名称及び飼養施設の所在地に係る情報について、インターネット等による公表の同意を取り消します。

家畜改良センターから照会する際の連絡先（メールアドレス、電話番号等）

注）飼養地情報の公表取消について、当該管理者が同意した場合は、「本人の確認」の欄にチェックを記入すること。

（日本工業規格 A 4）

別紙 4（第 3 条第 2 項関係）

死亡牛の譲渡し先情報の公表の同意取消書

年 月 日

独立行政法人家畜改良センター理事長 殿

氏名又は名称

本人の確認
注)

☐

住所

死亡牛の譲渡し先として
登録されたコード番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

牛個体識別全国データベースの情報の公表に関する手続（平成 22 年 3 月 1 日付け 21 独家セ第 1634 号）第 3 条第 2 項の規定により、私の氏名又は名称及び住所に係る情報について、インターネット等による公表に関する同意を取り消します。

家畜改良センターから照会する際の連絡先（メールアドレス、電話番号等）

注）死亡牛の譲渡し先情報の公表取消について同意した場合は、「本人の確認」の欄にチェックを記入すること。

（日本工業規格 A 4）

6. 農林水産省 地方農政局等一覧

地域担当等名		T E L
北海道	北海道農政事務所 消費・安全部 畜水産安全管理課	011-330-8816
	北海道農政事務所 消費・安全部 畜水産安全管理課 牛トレサ（生産）チーム（札幌・函館地域担当）	011-350-5490
	北海道農政事務所 消費・安全部 畜水産安全管理課 牛トレサ（生産）チーム（旭川・北見地域担当）	011-350-5489
	北海道農政事務所 消費・安全部 畜水産安全管理課 牛トレサ（生産）チーム（釧路・帯広地域担当）	011-350-5491

地方農政局名 担当課名	T E L
東北農政局 消費・安全部 畜水産安全管理課	022-745-9384
関東農政局 消費・安全部 畜水産安全管理課	048-740-5066
北陸農政局 消費・安全部 畜水産安全管理課	076-232-4106
東海農政局 消費・安全部 畜水産安全管理課	052-212-5680
近畿農政局 消費・安全部 畜水産安全管理課	075-414-9000
中国四国農政局 消費・安全部 畜水産安全管理課	086-224-4511
九州農政局 消費・安全部 畜水産安全管理課	096-211-9111

事務局名 担当課名		T E L
沖縄	沖縄総合事務局 農林水産部 消費・安全課	098-866-1672
	那覇農林水産センター	098-866-1675
	名護農林水産センター	0980-52-3970
	宮古島農林水産センター	0980-72-4772
	石垣農林水産センター	0980-82-2324

マニュアル名	URL	最新改訂時期
届出Webシステム 操作マニュアル	https://www.id.nlbc.go.jp/pdf/wns_ma_all.pdf	令和7年6月版
電話音声応答（CTI） ご利用ガイド	https://www.id.nlbc.go.jp/pdf/PCManual.pdf	令和7年10月版
牛トレーサビリティ制度 農家向けマニュアル (本誌)	https://www.id.nlbc.go.jp/data/manual.html	令和7年10月版

- 本マニュアルに掲載している内容は、今後、変更される場合があります。

最新の情報については、「牛の個体識別情報検索サービス」のホームページにて
ご確認ください。センターまでお問い合わせください。

「牛の個体識別情報検索サービス」のホームページはこちら。

→ <https://www.id.nlbc.go.jp/>

お問い合わせ先：（独）家畜改良センター 個体識別部

TEL：0248-48-0596 FAX：0248-48-0581

E-Mail：id@nlbc.go.jp

牛個体識別制度に関することは、農林水産省にお問い合わせください。

→ <https://www.maff.go.jp/j/syouan/tikusui/trace/>

お問い合わせ先：消費・安全局畜水産安全管理課（牛トレーサビリティ企画班）

代表TEL：03-3502-8111（内線4548）

ダイヤルイン：03-6744-1525

FAX：03-3502-8275

耳標配付に関することは、補助事業の事業実施主体にお問い合わせください。

お問い合わせ先：（一社）家畜改良事業団 情報分析センター 家畜個体識別センター

TEL：0248-48-0592 FAX：0248-48-0586